

# 学校だより

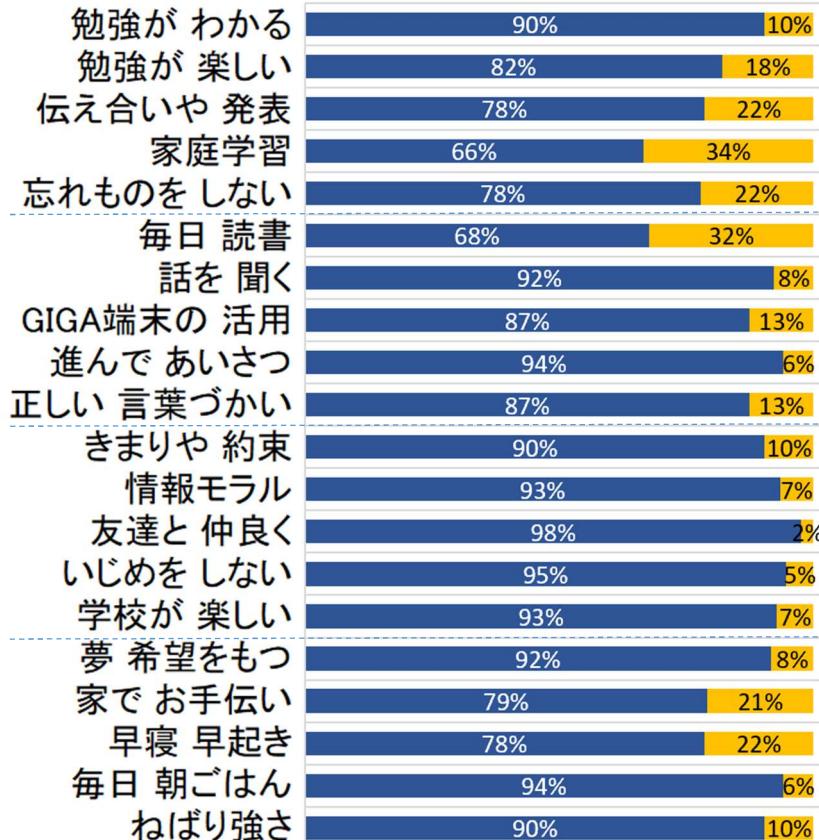
令和6年9月10日 特別版  
京都市立向島小学校  
校長 鎌田 真行



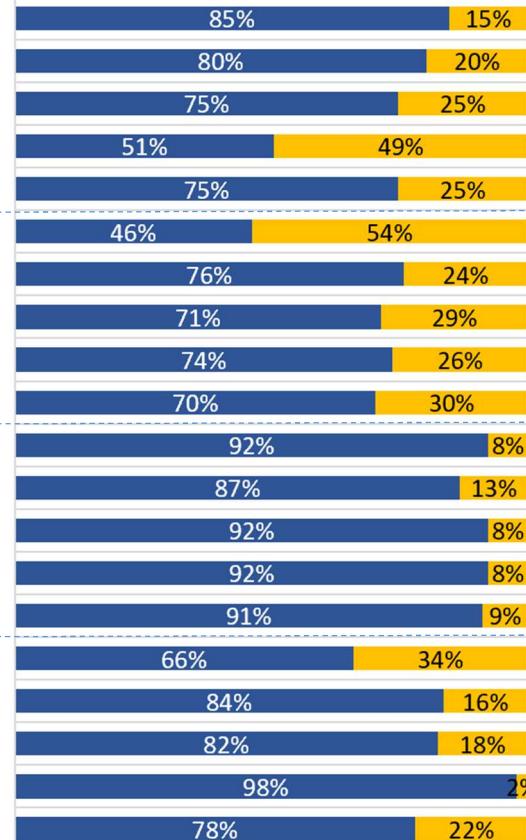
## 前期学校評価結果の考察



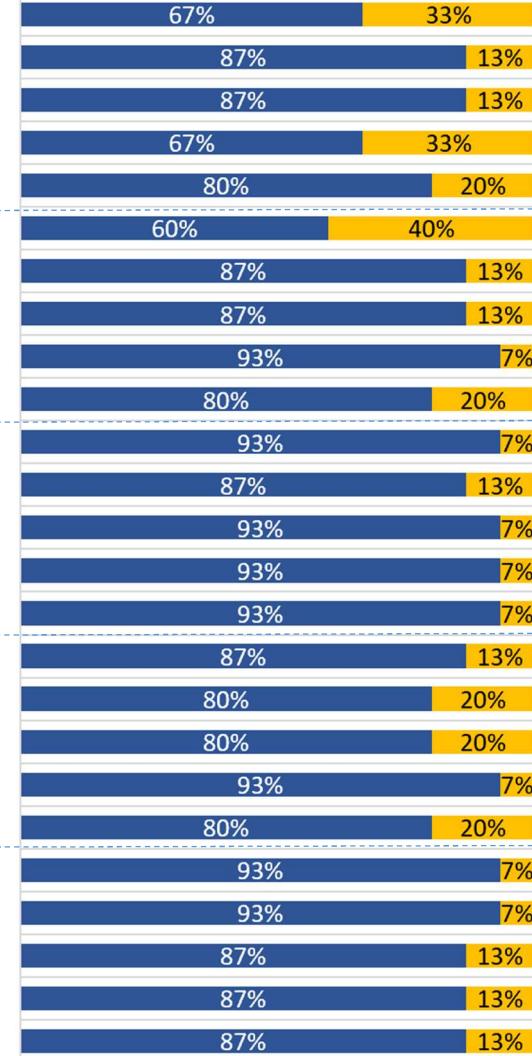
### 児童



### 保護者



### 教職員



グラフは学校評価（4段階）の

・「よくできている」、「だいたいできている」の合計（左側）

・「あまりできていない」、「できていない」の合計（右側）

- |            |            |
|------------|------------|
| ・よくできている   | ・あまりできていない |
| ・だいたいできている | ・できていない    |

人権を大切にした教育  
教育方針を知る  
学校の様子を知る  
気軽に質問や相談  
学校行事への参加

平素は、本校教育にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、1学期末に回答いただいた「学校評価アンケート（前期）」につきまして、集計と確認が終わりましたので結果をご報告させていただきます。お忙しいところ、多くの方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

また、アンケートについての考察を以下のとおりまとめさせていただきました。併せて、ご確認いただきますよう宜しくお願ひ申し上げます。

## 考 察

### 成果と課題



#### お決まりの4質問 【決まりや約束】【友達と仲良く】【いじめをしない】【学校が楽しい】

本校が実施するアンケートにて、これまで児童・保護者・教職員の三者で肯定的な回答が多かった4つの質問です。今回も、他の質問と比較しても高い水準で肯定的な回答だったことが分かります。1学期の間、決してケンカやトラブルが無かった訳ではないですが、子ども同士のつながりで解決したり、保護者の方々や教職員が話を聞いたりすることで、概ね楽しく学校に登校することができている様子がうかがえます。ただ、「あまりできていない」「できていない」との回答もありますので、その点は様子を注意して見ていくことと併せて、引き続き子どもたち同士のつながりを大切にしながら教育活動を進めていきたいと考えています。

#### 学習の習慣化 【家庭学習】

依然、児童・保護者・教職員ともに数値は低い結果となりました。「家庭学習」への取組は、子どもが主体的に学習に取り組むことができているかのバロメーターであるとも言えます。その点では、家庭からの声かけだけで良化するものではなく、学校側による新たな工夫や課題提示の仕方について見直す必要があると感じています。また、本校は学校教育目標を『自ら学び、ともに高め合う、向島の子』と掲げています。知識や技能の習得だけではなく、学ぶ楽しさを感じながら自らの学びを自立させることができる児童に成長してほしいとの思いです。この点は大いに反省材料とし、家庭学習のみならず、日常の学習や授業についても教職員一同で考えていきたいと思います。

#### 学校教育への理解とご協力に感謝

学校行事への積極的な参加や教育活動へのご協力について本当に感謝しております。今後も、気軽に質問や相談をしていただける関係作りに努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。